令和５年度

全国学力・学習状況調査の結果について

学校には、新学習指導要領に基づく「社会に開かれた教育課程」のもと「個別最適な学び」や「協働的な学び」を通して児童生徒の資質や能力を育成することが求められています。

今年の４月に行われた全国学力・学習状況調査は学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証するとともに、学校における教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。今年度の調査結果の概要をお知らせします。

町では本調査結果を活用し、児童生徒一人一人が確かな学力を身に付けられるよう、今後も取り組みを進めていきます。

小学校

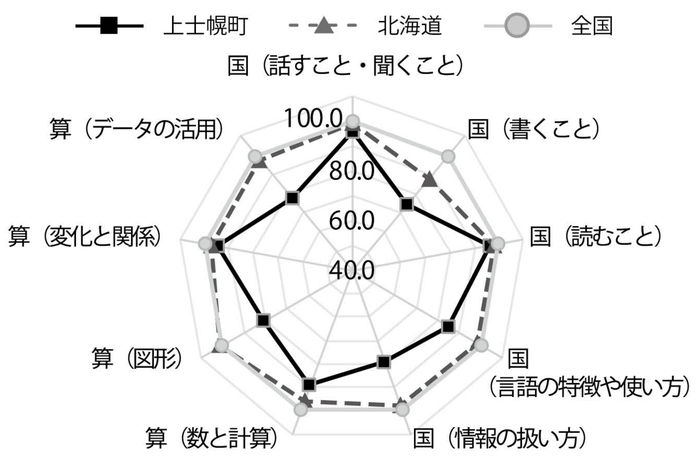
【国語】

全体では、全国・全道の正答率に近づきました。「話すこと・聞くこと」、「読むこと」に関する事項では全国・全道に近づいていますが、「書くこと」「情報の扱い方」に関する事項に課題が見られました。

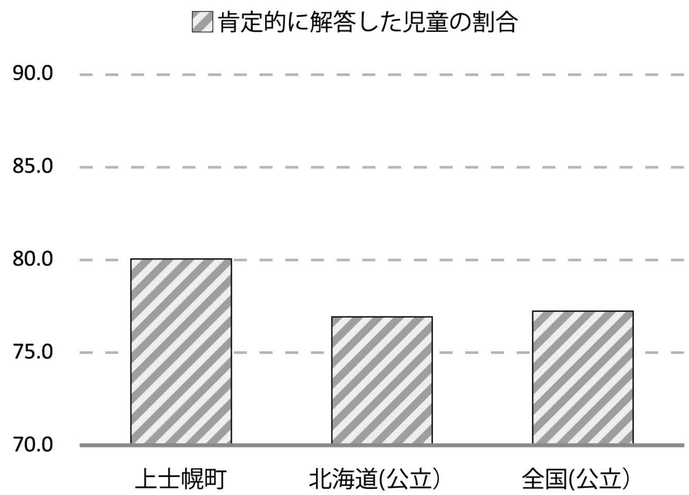
【算数】

全体では、全国・全道の正答率に近づきました。「数と計算」、「変化と関係」では全国・全道に近づいていますが、「図形」「データの活用」に課題が見られました。２つの数量の変化から求める問題や、乗法の計算に関する問題では、全国・全道を上回りました。

■小学校の正答率の比較（全国を100として）



■あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



児童への質問では、「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」は全道・全国を上回りました。また、「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組む」も９割近くが当てはまると回答をしました。児童が主体的に学ぶ授業が展開されていると考えます。

家庭学習の時間については依然課題が残っています。

中学校

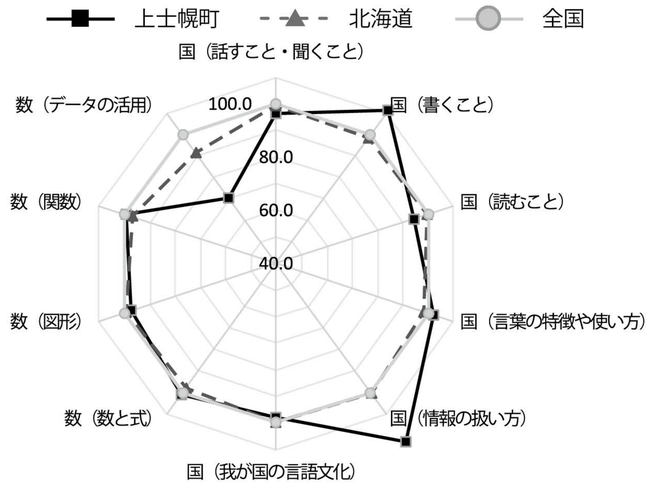
【国語】

「情報の扱い方」「書くこと」「言葉の特徴や使い方」に関する事項は全道・全国平均を上回り、「読むこと」に関する事項に課題が見られました。特に複数の情報の関係について理解する問題では、全道・全国を大きく上回りました。

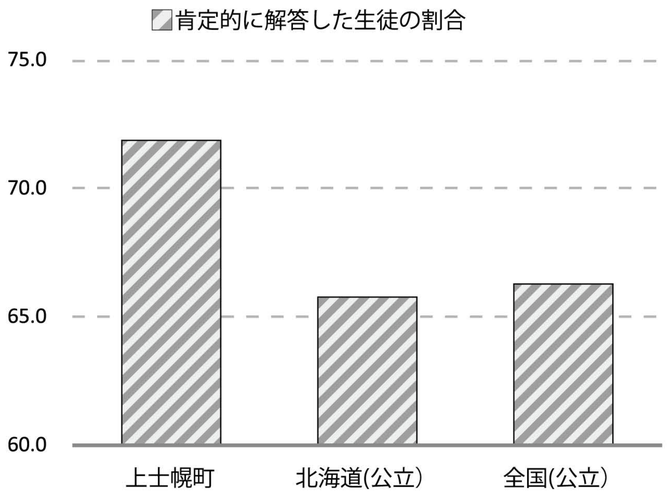
【数学】

「数と式」が全道・全国を上回りました。「図形」「関数」では全道・全国と同程度でしたが、「データの活用」に課題が見られました。特に集団分布の傾向を比較して数学的説明をする問題に課題が見られました。

■中学校の正答率の比較（全国を100として）



■将来の夢や目標を持っていますか



生徒への質問では、「将来の夢や目標を持っている」また、「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動」では「肯定的に解答」した生徒が全国・全道を上回りました。その他、学校の授業時間以外に、普段１日当たりどれくらい読書をするか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）についても、時間が長かったです。

家庭学習の時間については依然課題が残っています。

【上士幌町の学力向上策について】

・町学力向上推進会議で、共通の視点に立った一貫した学力向上策を進めます。
・「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組み、質の高い授業づくりをします。
・ＩＣＴ推進担当教諭を中心に、ＩＣＴ機器の活用等の学習活動を取り入れた個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図ります。
・一人一人の学習状況に応じるため、町専科教員・教育支援員等の活用を推進します。
・一貫した学習規律の徹底や規律正しい生活リズムを整えるとともに、家庭学習の充実を図ります。

【家庭で取り組んでほしいこと】

・テレビやスマートフォン、ゲーム機等の時間を決めるなど計画性をもたせることが必要です。
・学年に応じた毎日の家庭学習の習慣化を図ることが大切です。

今後とも、学校、家庭、地域が連携して一体となった本町教育のさらなる充実に努めていきますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

※お問い合わせは、教育委員会教育推進課（☎2-3014）まで